

## 博士人材の社会における活躍促進に向けたタスクフォースの開催について

### 1. 趣旨

我が国の博士後期課程への入学者数は平成 15 年（2003 年）をピークに減少傾向にあり、人口 100 万人当たりの博士号取得者数を諸外国と比較すると、アメリカ、ドイツ、イギリス、韓国の 3～4 割程度となっている。このような状況が続けば、新たな価値を創造し、今後の社会を先導・けん引できるような「知のプロフェッショナル」の確保に大きな課題が生じることが懸念される。また、研究者の国際的な頭脳循環が進む中で、博士人材の国際性の涵養やその裾野の拡大も課題となっている。

他方、博士後期課程在籍者の約 4 割は社会人が占めるなど、学び直しの観点からも博士課程は重要な役割を果たしており、このような流れを促進するためにも、必要な環境整備を着実に進めていく必要がある。

これまでも、文部科学省では、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大に向けた取組を進めてきたが、今後、博士人材の能力が社会において正當に評価されるとともに、博士人材の強み・魅力を可視化し、アカデミアのみならず、社会の多様なフィールドで一層活躍することを後押ししていくため、文部科学大臣の下に「博士人材の社会における活躍促進に向けたタスクフォース」（以下「タスクフォース」という。）を開催し、文部科学省として取り組むべき施策等について集中的に検討することとする。

### 2. 主な検討事項

- (1) 社会において博士人材が活躍するための方策について
- (2) 大学院教育の充実や学生への支援方策について
- (3) その他

### 3. 構成員

別紙のとおり。

### 4. その他

- ・タスクフォースに関する庶務については、関係課の協力を得て、高等教育局高等教育企画課及び科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室がこれを処理する。
- ・このほか、タスクフォースの運営に関する事項その他必要な事項は座長が定める。

(別紙)

博士人材の社会における活躍促進に向けたタスクフォース 構成員

座長 文部科学大臣

座長代理 文部科学副大臣（教育担当）

座長代理 文部科学副大臣（科学技術・学術担当）

総合教育政策局長

初等中等教育局長

高等教育局長

科学技術・学術政策局長

研究振興局長

オブザーバー 科学技術・学術政策研究所所長

※ 必要に応じて、随時構成員を追加する。